

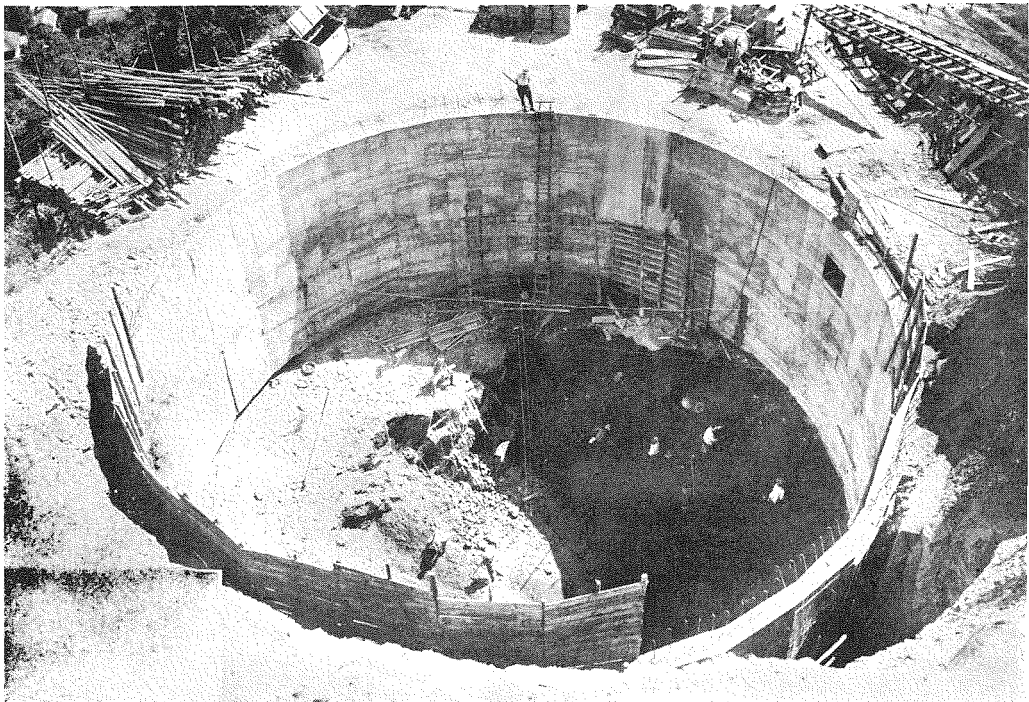
秋元発電所工事(2)

東京電燈株式会社土木課長 大 島 満 一

秋元発電所の特種性

水源に檜原小野川秋元の三湖を有し、其の有効貯水量合計58億立方尺總流域面積16方里餘であるため本発電所は冬期渇水期に年出力の60パーセントを発電することが出来る。上流にある小野川発電所と下流猪苗代湖を利用する猪苗代第一、第二、第三、第四発電所と共に電力需要の最盛期冬期渇水期に其全設備能力を発揮することに於て我邦屈指の発電所である。水壓隧道は延長水量水壓の大なることに於て其例少く、取水口は既設秋元湖の利用水深最低水位以下更に19尺湖面低下を爲し得る様に設計され且つ湖水の水位は其貯水を冬期利用しながら取水工事施工し得る様な特別なる工法を選んである。水槽は小野川発電所の分と共に其底部工法に於て他に例がない。鐵管呑口のゲートは、ホキールゲートを用ひた。水壓鐵管に鉄綴管Yを使用せるが直徑がYの上部で3.2米下部で2.5米のために現場組立て其細部工法も新しき試を用ひた。尙Y管以下の直管は電氣溶接管を用ひたが之等は工場製作とし其接合部はレントゲン寫眞に依り其溶接の巧拙を識別し其拙なるものは水壓試験を更に施工した。

寫眞21. 水槽外巻コンクリート(7米迄捲立)(昭和13.8.22)



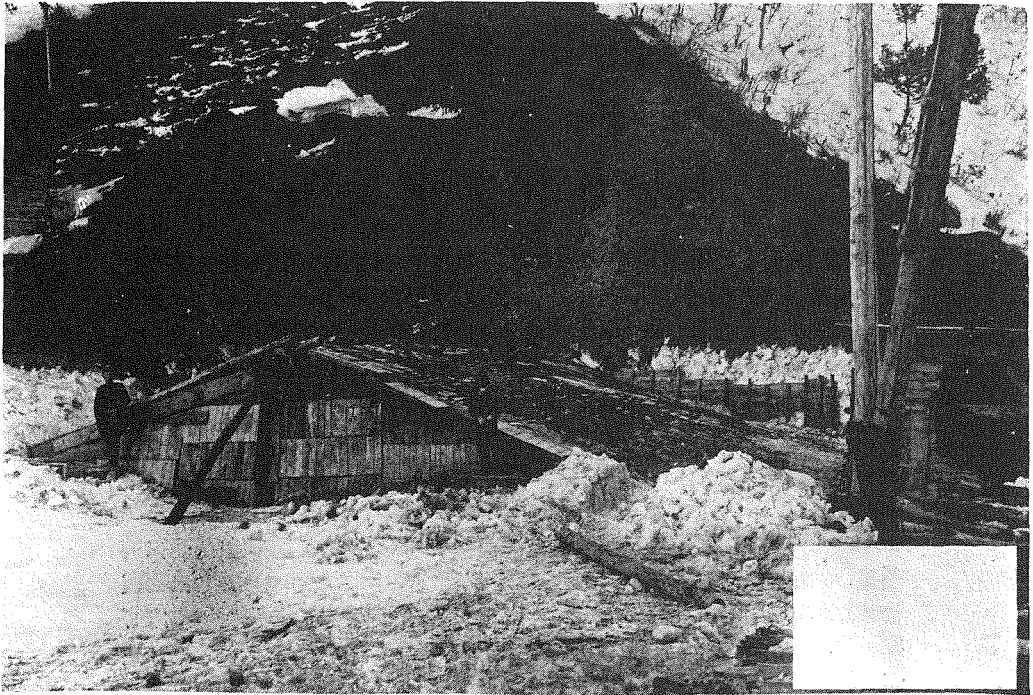
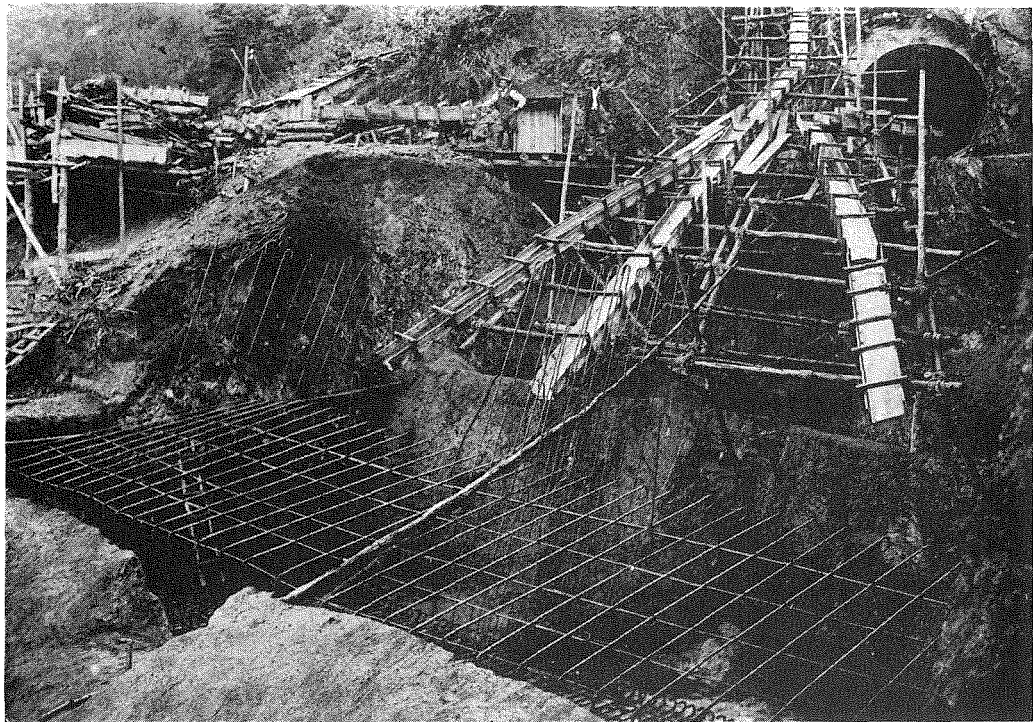
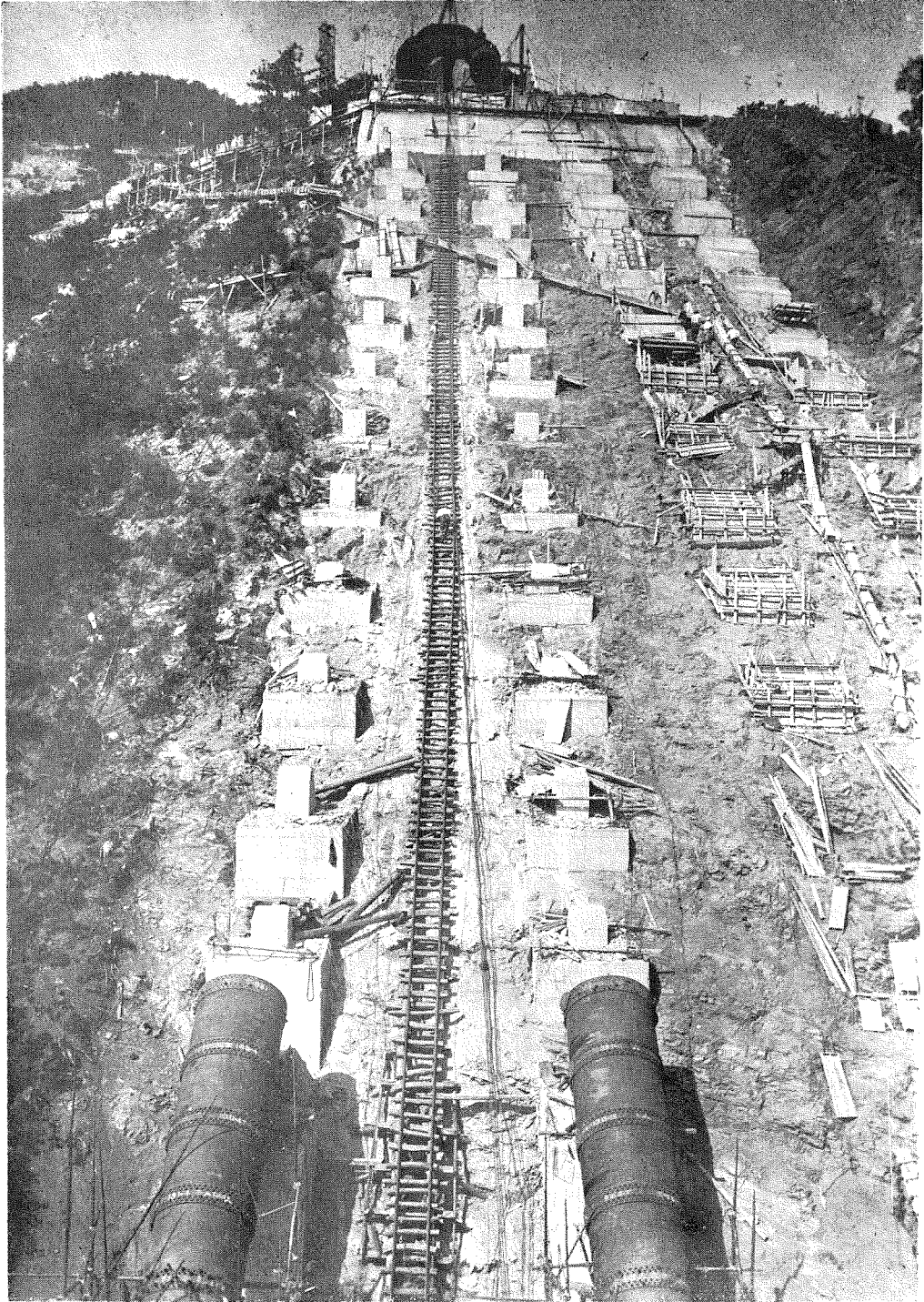


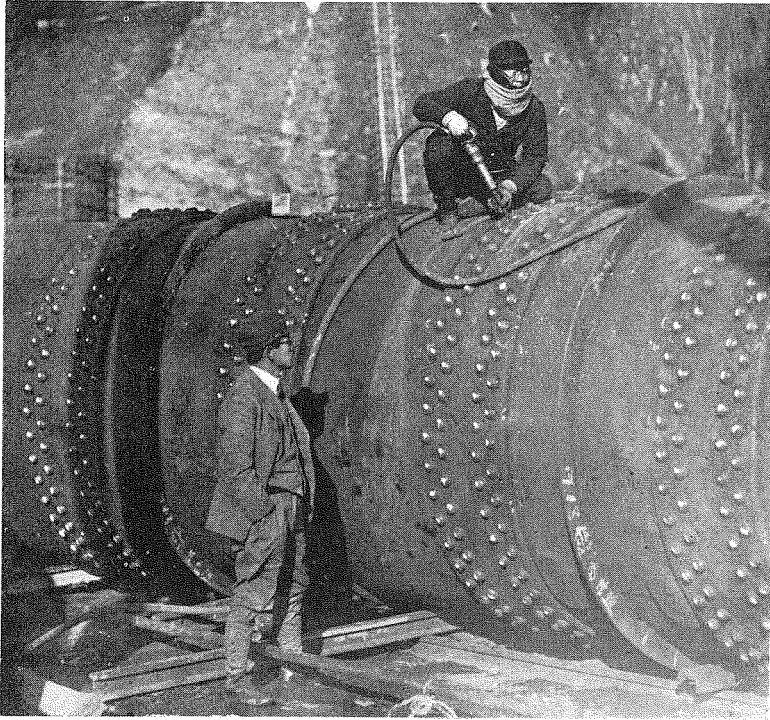
写真22. 水槽冬期作業雪覆の實況(昭和14.2.15)

写真23. 鐵管路第1號アンカーブロック前面カンチ
レー部基礎配筋(昭和14.9.16)



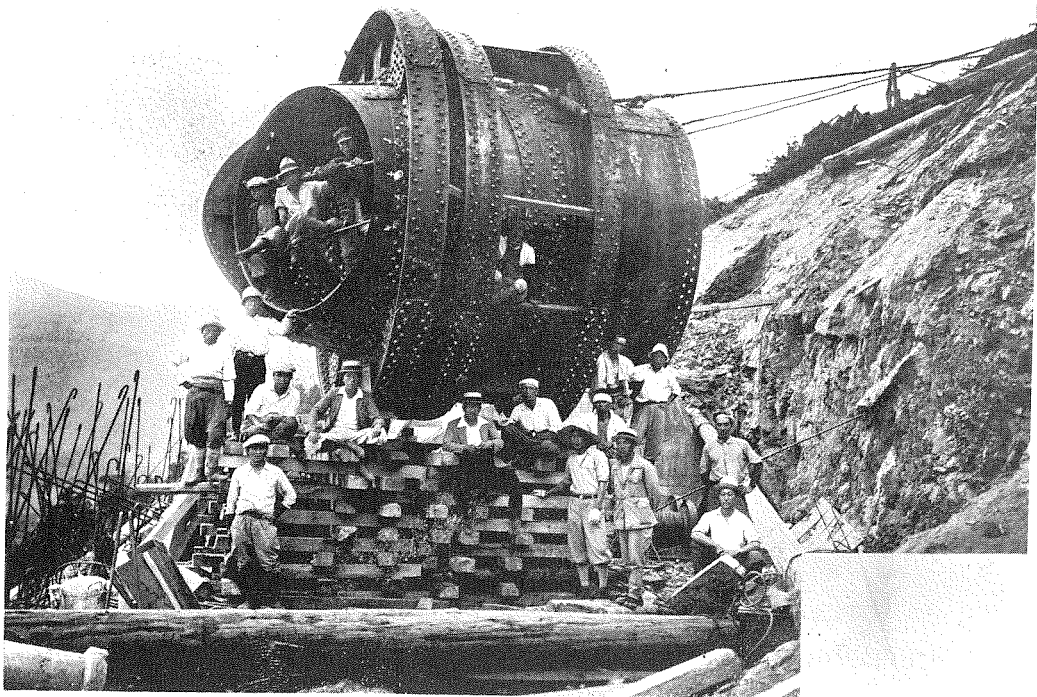


寫眞24. 鐵管路第2號ベンド以下鐵管布設狀況(昭和14.9.18)



寫真25. 第3號鐵管鉸鉞(昭和14.12.14)

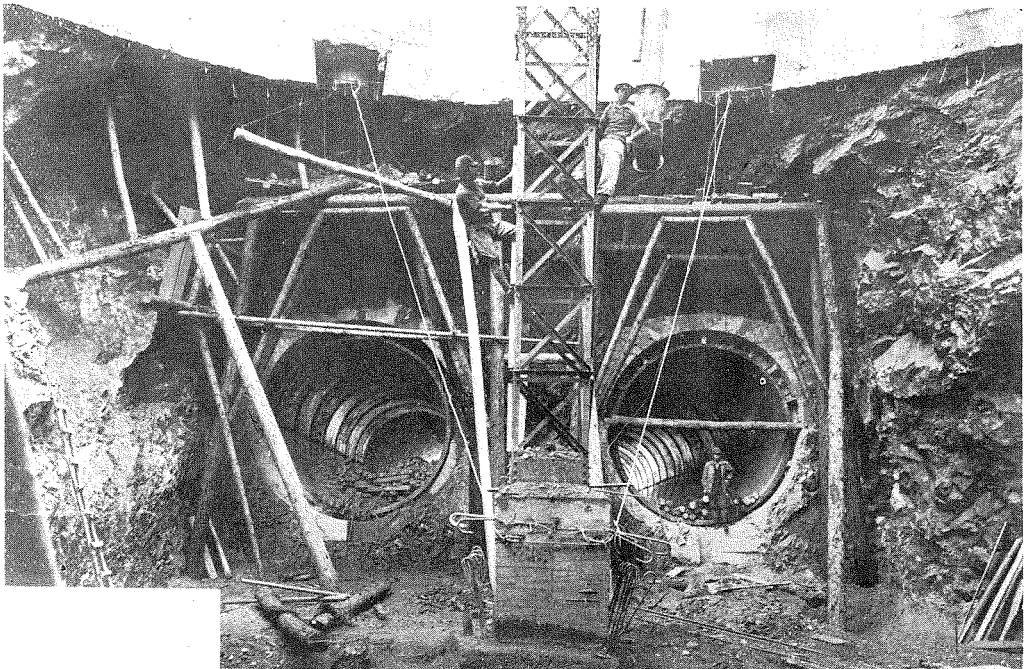
寫真26. Y型管橫移動設備實況(昭和14.7.30)

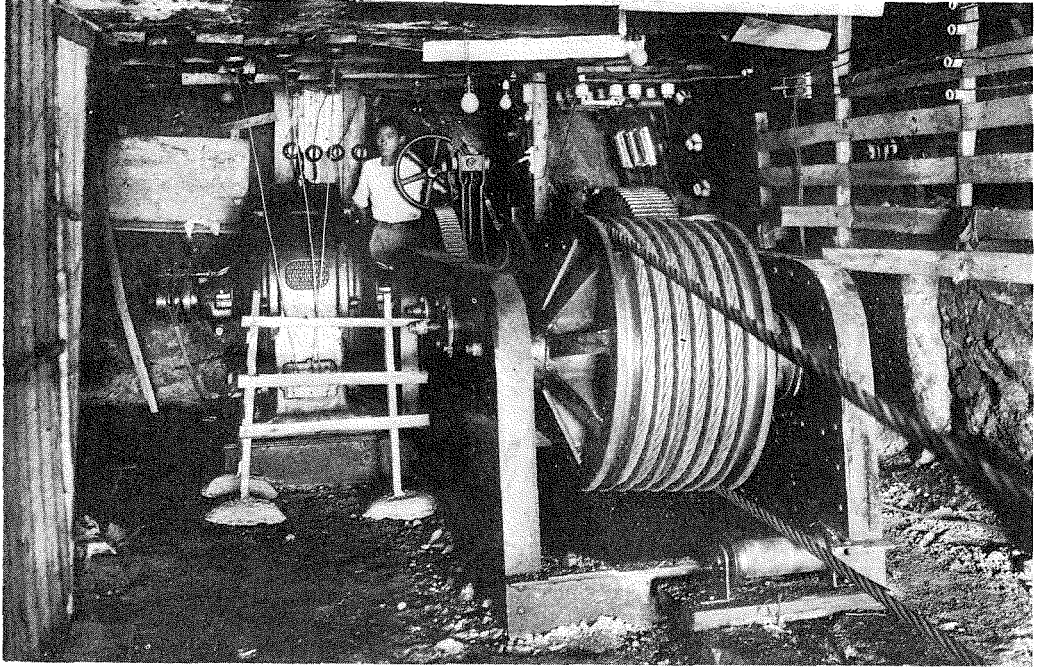




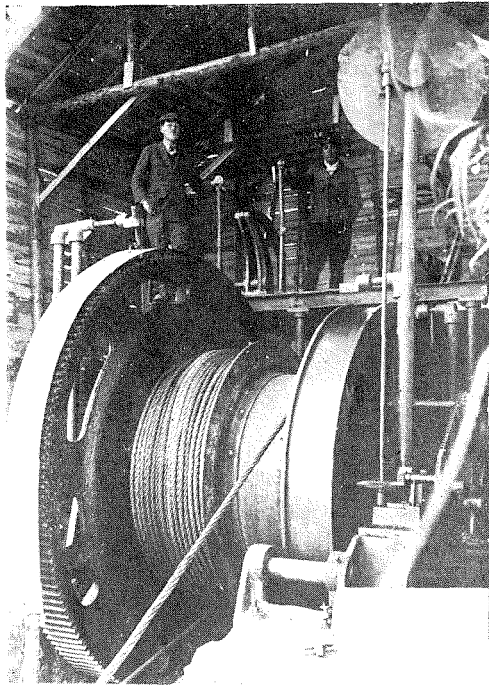
寫真27. 鐵管隧道出口(昭和14.6.27)

寫真28. 水槽鐵管管口部正面(昭和14.4.12)





寫真29. 鐵 管 路 用 捲 揚 機(昭和14.9.9)



寫真30. 25吨捲揚機(昭和14.4.30)

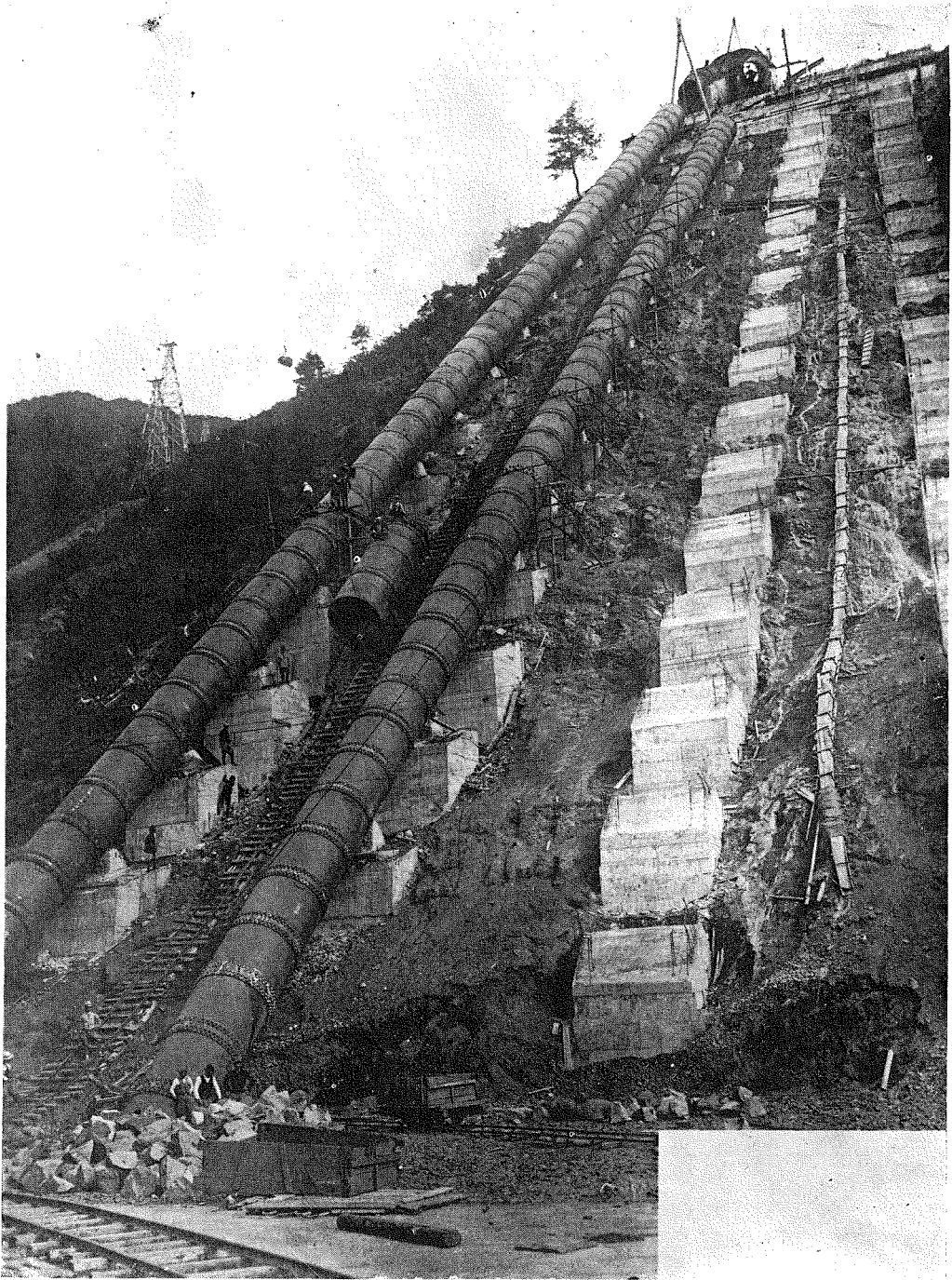
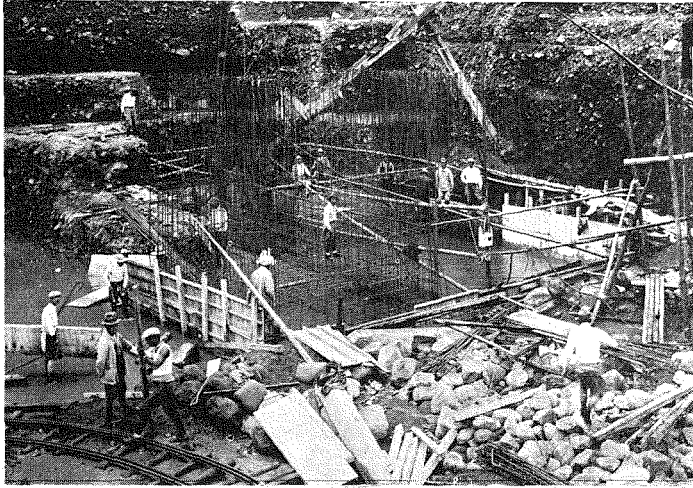
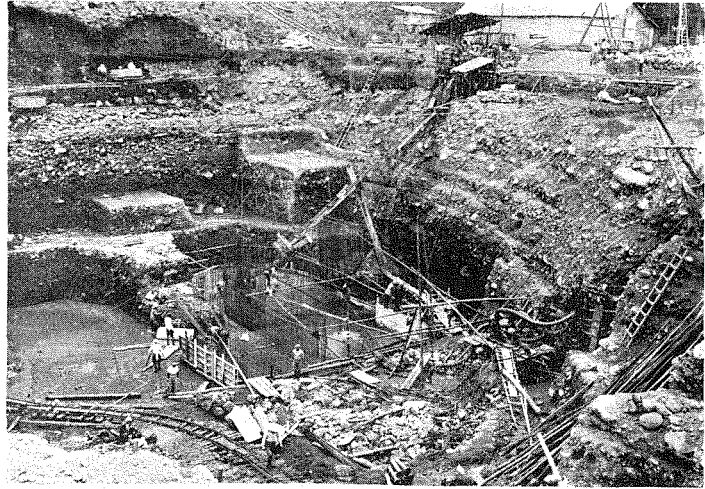


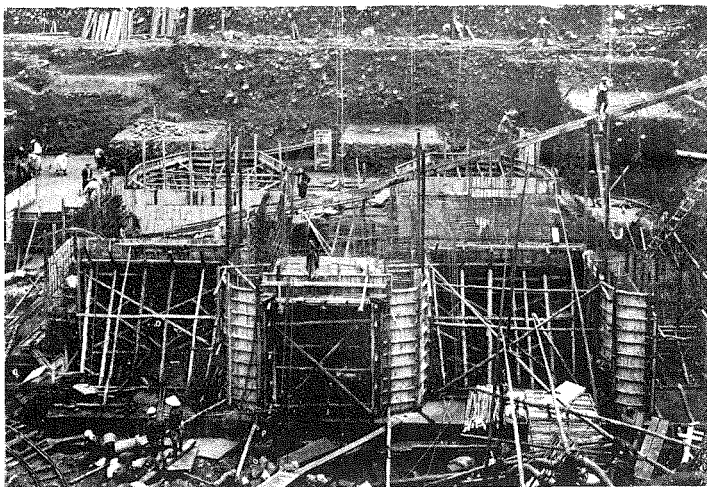
写真31. 鐵管路第2號バンド以下鐵管布設實況(昭和14.10.13)



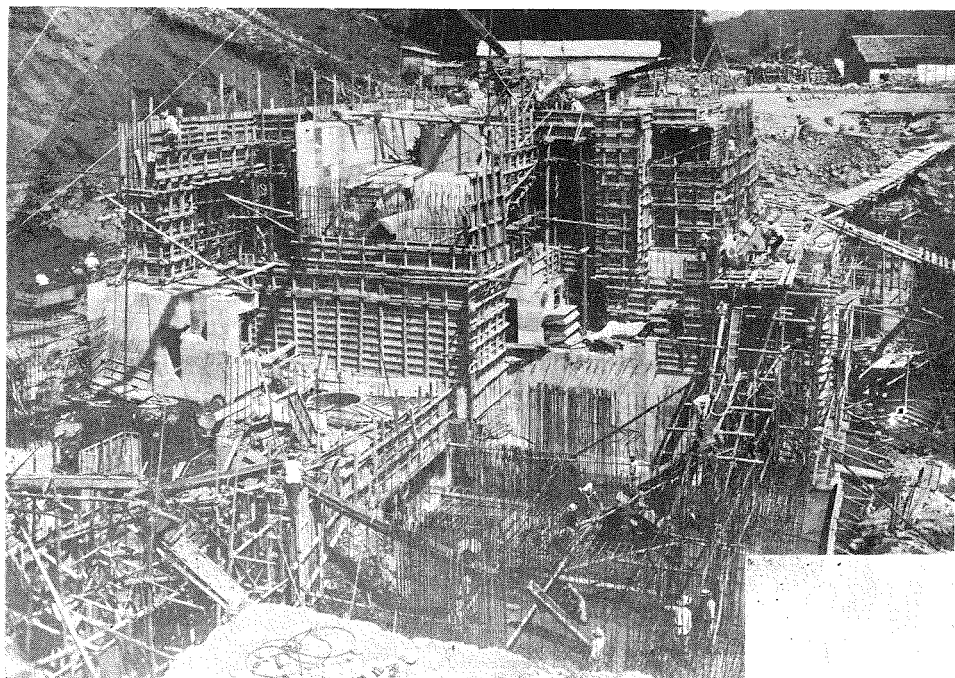
寫眞32. 發電所基礎配筋 (昭和12.11.22)



寫眞33. 發電所基礎最下部
コンクリート施工狀況
(昭和13.6.6)

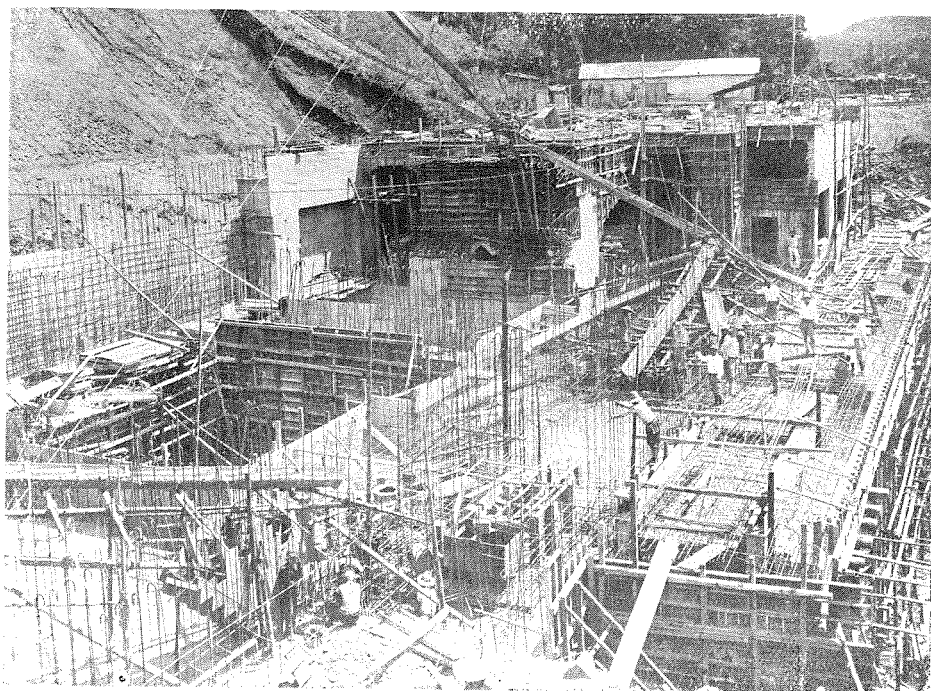


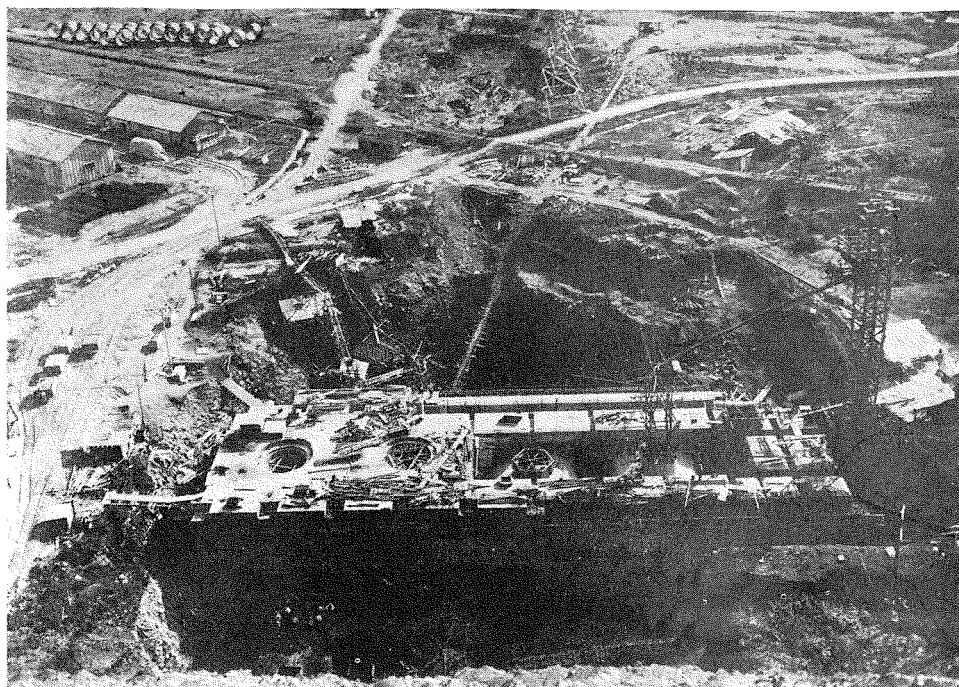
寫眞34. 正面より觀たる發電
所基礎配筋(昭和13.6.13)



寫眞35. 發電所基礎工事施工狀況(昭和13.7.21)

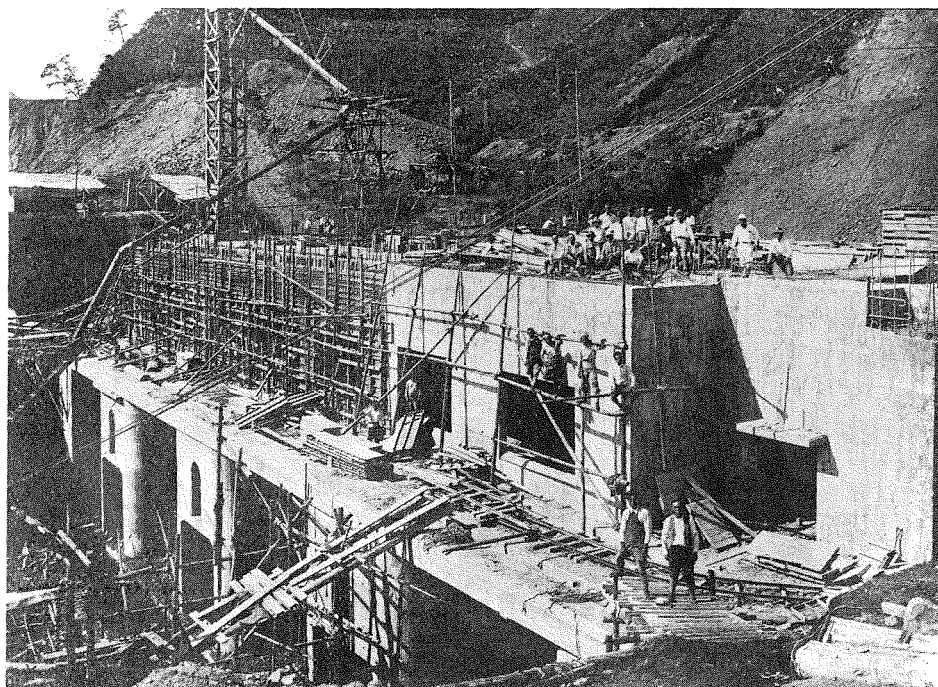
寫眞36. 發電所1.2號機水車室床面配筋(昭和13.7.21)

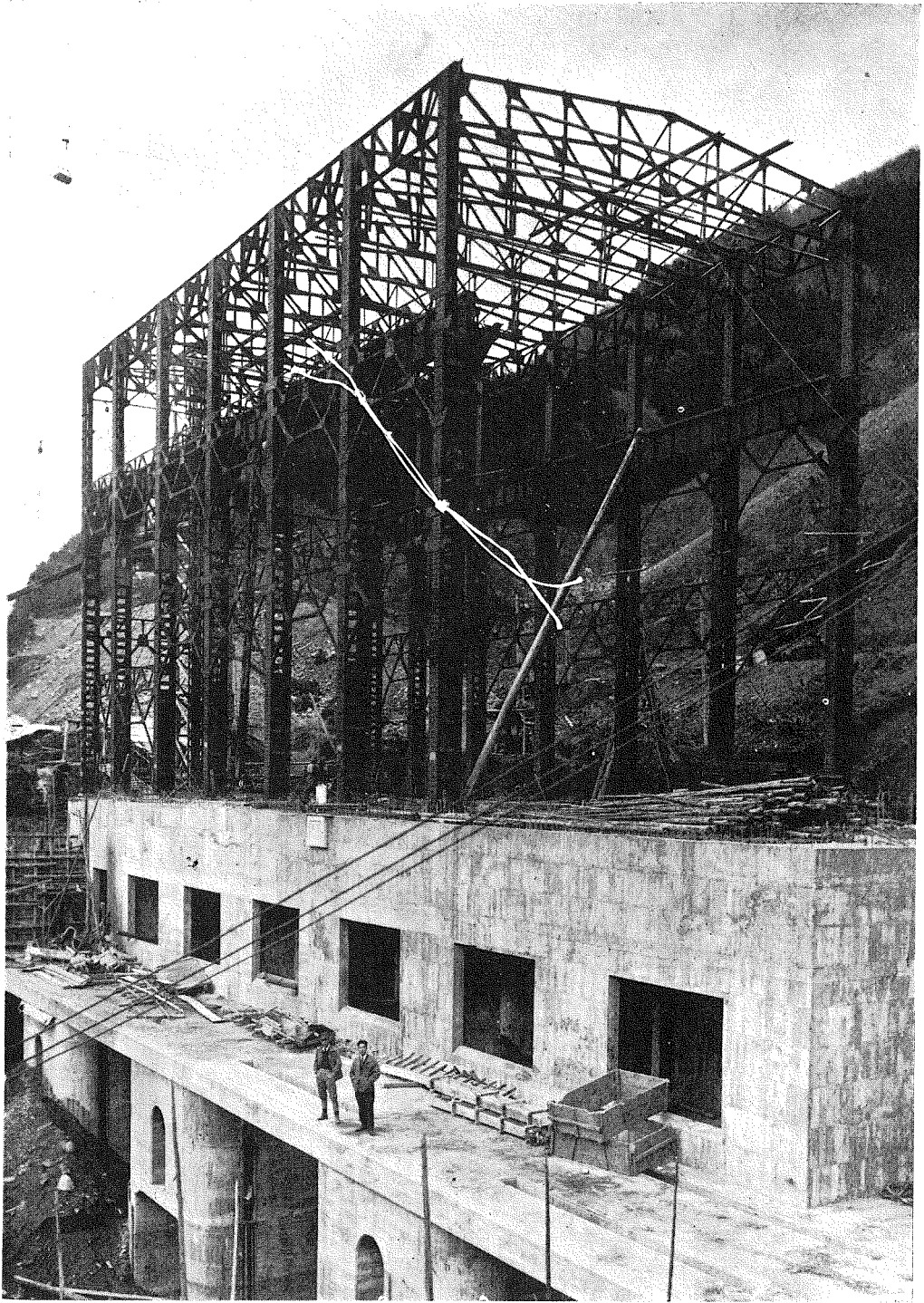




寫眞37. 完成に近き發電所基礎鳥瞰(昭和14.9.9)

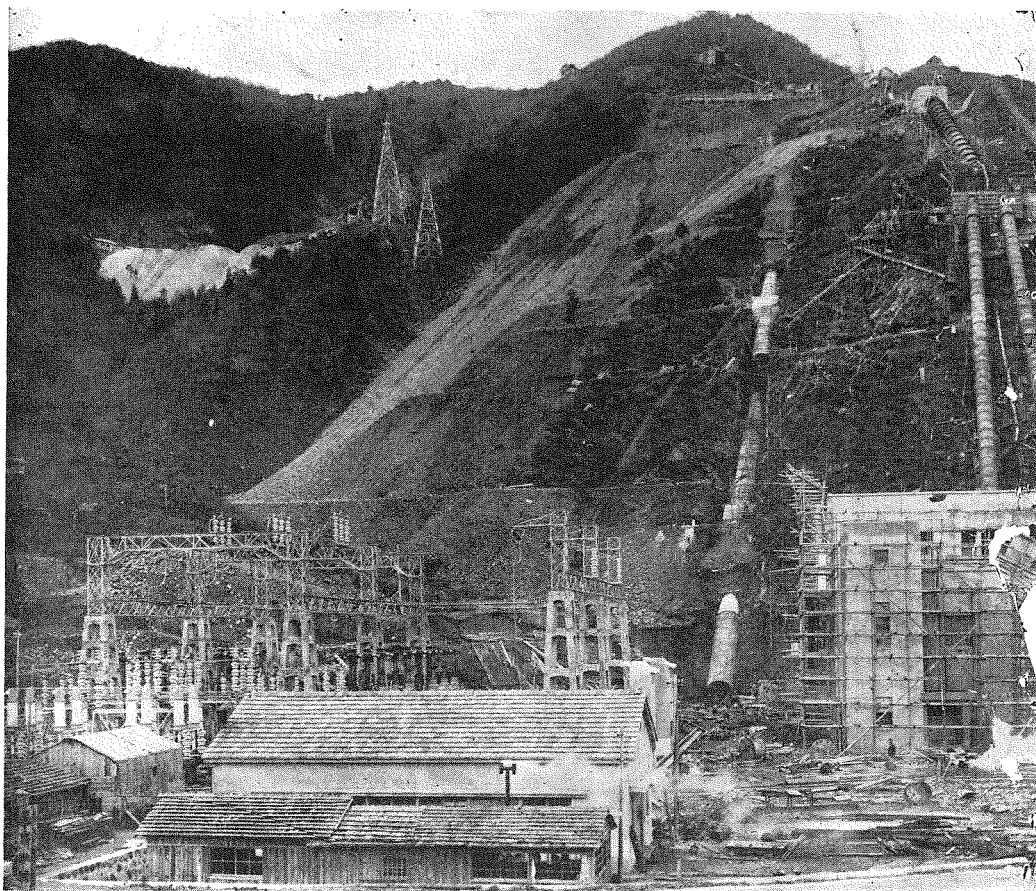
寫眞38. 完成に近き發電所基礎南方より観る(昭和14.9.9)





寫真39. 發電所鐵骨組立(昭和13.11.24)

寫真40. 發電所工事中正面景(14年11月中旬)



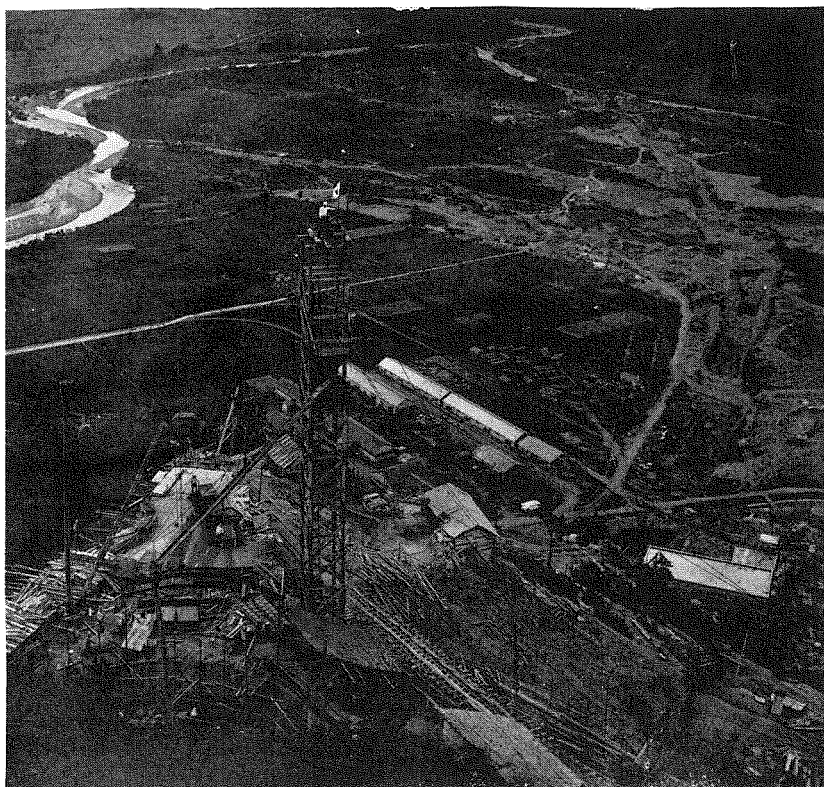


写真41. 水槽附近より放水路を望む(昭和14.9.18)

